人と自然が彩る　なんか居心地のいいまち　ブナ北限の里　黒松内町

広報 くろまつない

Public Information kuromatsunai No.532
9
令和４年

主な内容

新しい学校給食センターが完成しました

the most beautiful villages in japan

○表紙写真　「真夏の風物詩」　撮影・・・矢野 行信（黒松内写真倶楽部）

新しい学校給食センターが完成しました

夏休み明けの令和４年８月17日から、新しい給食センターで調理した給食の提供が始まりました。

これまで使用していた旧給食センターは、昭和56年に開設し、たくさんの本町児童・生徒に学校給食法に基づいた栄養バランスの取れた食事を提供してきました。

しかし、施設及び設備の老朽化が進んでいることや、調理時の衛生管理基準への対応が困難になってきたことから、学校給食の提供環境を抜本的に改善するため、今回の整備に至りました。

また、新しい給食センターでの給食の提供は、これまでの町の直営調理から、新たに選定した民間事業者への委託に変更し、人員の確保や更に徹底した衛生管理に取組みながら、「安全・安心な学校給食」を提供していきます。

施 設 名
黒松内町学校給食センター

住　　所
黒松内町字黒松内 427-1

提 供 数
320 食 / 日（小学校２校・中学校２校・道立校１校）

調理方式　ドライシステム

総事業費　約７億円

新しい給食センターの主な特徴

衛生管理の徹底

床に水分を落とさないドライシステムの導入、食材の下処理エリアと調理エリアを完全に分けることで、作業動線が交わることによって生じる汚染を防ぐなど、「学校給食衛生管理基準」等に適合した衛生管理を徹底します。

アレルギー対応食の提供

食物アレルギーを持つ児童・生徒のリスク軽減のため、通常の調理室とは隔離された専用の調理室を設け、これまで以上に安全・安心な食物アレルギー対応食を提供します。

災害への対応

災害発生時には非常用発電機を搬入し接続することで、停電時にも施設は利用可能となります。

備蓄食料も備え、災害時には学校・避難所などへ非常食を届けることができます。

新しい給食センターの施設概要

① 前室・検収室

前室で調理前に手洗いや消毒などの準備をして、検収室では、食材の温度や数量、産地などを確認します。

② 野菜類下処理室

検収された野菜類を調理できるように、洗浄などの下処理を実施します。

③ 調理室

直径１ｍほどの大きな釜で煮炊き調理や汁物調理をします。
また、調理室を見学するスペースもあります。(写真は一般見学会の様子)

④ 洗浄室

食器や箸、スプーン、トレーなどを洗浄機で効率よく衛生的に洗浄します。

⑤ コンテナプール

洗い終わった食器や食缶は、それぞれ専用の消毒保管装置で熱風消毒してから保管します。

調理スタッフ募集中

給食センターでは調理スタッフを募集しています。
フルタイムパートや月平均８０時間勤務のパートなどありますので、まずは町教育委員会までお気軽にお問合せください。
私達と一緒に、おいしい給食を作りましょう！

安全・安心な学校給食の提供に向けて

新しい給食センターの一番のメリットは衛生面の向上です。例えば、和え物のサラダなどは新しい真空冷却器で短時間で冷やせ、人の手が触れる回数も減るため、衛生面が大幅に向上しました。

また、調理室の見学スペースができたため、食育の時間などを使って、子供たちがこれまでは見ることができなかった調理過程を見学できるようになりました。

まだ新しい施設での調理が始まったばかりで、スタッフも施設に慣れるのに必死ですが、今後は、黒松内町の地場産物をもっと給食に取り入れ、ふるさとの味や温かさを伝えられるメニューも増やして行く予定です。

（黒松内小学校 北山瑞穂栄養教諭にお話を伺いました）

新しい給食センターで調理した
８月 19 日「食育の日」の献立

・ごはん
・もやしの味噌汁
・野菜コロッケ
・夏野菜のトマト煮
・牛乳
・トワ・ヴェールの
　アイスクリーム

■お問合せ先
町教育委員会【担当　中嶋・小路】
TEL 72-3160

二十歳の門出

はたちを祝う会

真夏の暑さが続く令和４年８月14日「はたちを祝う会」を町民センター大ホールで開催し、新成人13人が参加しました。

令和４年４月１日から民法の定める成年年齢が18歳に引き下げられる法律が施行されましたが、本町では町内出身者が20歳という節目の年を迎えられたことを祝う「はたちを祝う会」として、これまでどおりお盆の帰省シーズンに合わせて催すこととしました。

鈴木教育長の式辞では「常に感謝の気持ちを持ち、お互いに人格と個性を尊重しながら共生できる社会の実現に向け努力してほしい。」と新成人への激励の言葉が贈られました。

▲はたちの誓い　池本拓真さん

▲謝辞　菅原萌乃さん

新成人を代表して池本拓真さんが「はたちの誓い」を述べ、成人の儀を迎えることができたことへの感謝と、新成人として社会に貢献していきたいという誓いをしっかりとした眼差しで宣誓しました。

式典終了後、黒松内あじさい会によるお茶会と「笑華尊塾（しょうかそんじゅく）」塾長の塩谷隆治氏の講演が行われ、「元氣アップ～ココロのサプリメント～」をテーマに、複雑で予測の難しい現代社会でできる元気アップの方法や新成人へのエールが贈られました。

出席者（敬称略・順不同）

池本拓真
野本ひかり
ソックキムティタニアサルサビラ
菅原萌乃
綿路悠真
三本木嵩将
池口桜
安藤優之介
桑村ひなた
野田葵
綿路翔英
鈴木泰彦

ふれあいタウン情報

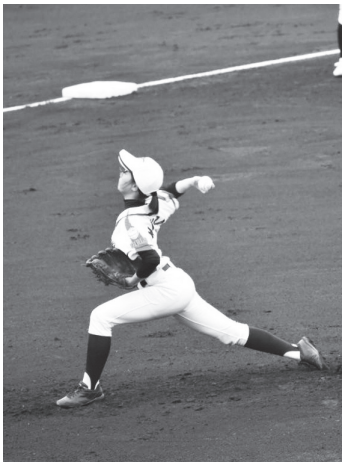
7/16～18 黒松内リバーズも出場 全日本軟式野球 南・北海道大会

北海道軟式野球連盟主催の天皇賜杯第77回全日本軟式野球南・北海道大会ＥＮＥＯＳトーナメントが、町営野球場と蘭越町総合運動公園野球場を会場に開催されました。

本町の黒松内リバーズも地元開催枠で出場しましたが、一回戦の港タイヤ商会（小樽市）戦で、惜しくも0対4で敗退しました。

監督の田中豪治さん（3区）は、「黒松内にはこんな立派な球場があるので、地元チームを代表して勝ち進めるように、もっともっと練習に励みます。」と今後の活躍を誓ってくれました。

7/24～27 全国大会準優勝の快挙！ 第5回ガールズチャンピオンシップ



長野県松本市で開催された日本リトルシニア中学硬式野球協会第5回ガールズチャンピオンシップに三浦万侑さん（黒松内中学校3年生）が北海道ガールズの一員として出場しました。

三浦さんは、決勝戦を含む全試合に主に投手として出場し、決勝戦では惜しくも5連覇を果たした関西レディースに敗れはしましたが、準優勝の快挙を達成し、個人としては優秀選手賞を受賞する活躍ぶりでした。

「決勝まで勝ち進んできた経験を活かし、来年こそは優勝してほしい。」と、三浦さんは後輩たちに夢を託していました。

また、今回の北海道ガールズの活躍が認められ、8月27日札幌ドームで開催された北海道日本ハムファイターズの公式戦で、三浦さんが始球式の大役を務めました。

7/24（日） 森林療法実践プロジェクト 寺の沢川ウォーキング

毎月実施している森林療法体験会を開催し、今月は寺の沢川でのウォーキングのほかに、黒松内そば打ちサークルによるおいしいおそばを堪能しました。

また、今年6月には森林療法をまちの新しい産業に発展させるため、ぶなの森自然学校、町観光協会、森林療法実践プロジェクト等で構成する「黒松内ヘルスツーリズム推進協議会」を立ち上げ、林野庁補助事業の「森林サービス産業」創出・推進に向けた活動支援事業の準モデル地域に本町が選定されました。

今後も毎月の森林ウォーキングの他に、森林療法の研修会などを実施しますので、皆さんの参加をお待ちしています。

6/7～8/8 歩く文化で地域を元気に！ フットパスセミナー&ウォーク

コミュニティ防災センターで「フットパスによる観光地域づくりセミナー」を開催し、25名が参加しました。

講師には総務省地域力創造アドバイザーの井澤るり子さんをお招きし、熊本県美里町での「交流人口増加」を目標にした取組のほか、㈱ジオ代表取締役の小川浩一郎さんを交えたパネルディスカッション、黒松内フットパスが抱える課題についてのワークショップを行い、活発な意見交換をしました。

翌日はあいにくの雨の中でのフットパスでしたが、参加者は井澤さんや小川さんから道端のふきを傘代わりにするなど、楽しみを見つけながら歩く様々なヒントをもらっていました。

Information 暮らしのお知らせ

町のホームページにて「広報くろまつない」を御覧になれます。
http://www.kuromatsunai.com/

お知らせ

在宅高齢者福祉金について

町では、70歳以上の方のみで生活している在宅高齢者を対象に「在宅高齢者福祉金」を交付しています。

対象となる方は令和4年9月16日までに保健福祉センター窓口で申請手続きをしてください。

▼対象要件

・70歳以上の高齢者のみの世帯で、かつ在宅で生活している方（施設入所や長期入院を除く）

・令和3年分の収入（年金・恩給・土地賃貸料等）が生活保護基準額（一人世帯93万円以下、二人世帯161万円以下）以下の方

▼申請に必要なもの

・令和3年分の収入が確認できる書類（年金支払通知書等）

・印鑑

■申請・お問合せ先

町保健福祉課【担当　菅原】
TEL72−4285

後期高齢者被保険者証の更新について

令和4年度は制度改正に伴い、令和4年10月1日に全ての方の後期高齢者被保険者証が更新となります。

現在お持ちの被保険者証の有効期限は令和4年9月30日までですので、9月中旬に送付する被保険者証と差替えてください。

なお、自己負担割合が1割と判定された方のうち、一定以上の所得がある方は令和4年10月1日から自己負担割合が2割に再判定されます。

▼2割負担対象者

①課税所得が28万円以上ある方（現役並み所得者以外の方）

②合計所得金額が単身世帯200万円以上、複数世帯320万円以上ある方

また、窓口負担割合が2割になる方には、令和4年10月1日から3年間、急激な負担増加を抑えるため、外来の窓口負担額の増加額の上限が1か月当たり最大3000円までとなる措置があります。

※上限を超えて支払った金額は、高額療養費として払い戻されます。金融機関の口座登録がお済みでない方は、役場窓口で手続きが必要です。

■お問合せ先

町住民課【担当　黒滝・千葉】
TEL72−3312

国民年金手続きの電子申請について

国民年金第1号被保険者の資格取得・種別変更、保険料免除・納付猶予申請、学生納付特例申請については、マイナポータルを利用した電子申請ができるようになりました。

申請にはマイナンバーカードが必要ですが、マイナポータルの情報を活用してスマートフォンやパソコンで申請書を作成することができます。

また、申請結果もスマートフォンなどで確認することができます。手続きの際は是非御利用下さい。

詳しくは、日本年金機構のホームページを御確認ください。

○9月の出張年金相談所開設

倶知安町後志労働福祉センター
9月21日（水）13時～17時

岩内町岩内地方文化センター
9月22日（木）9時～13時

※いずれも事前予約制です。

予約先
小樽年金事務所お客様相談室
TEL0134−65−5002
（音声案内1→2）

■お問合せ先

町住民課【担当　牛尾】
TEL72−3312

小樽年金事務所
TEL0134−23−4236

黒松内町敬老会の中止について

例年9月に開催している黒松内町敬老会は、新型コロナウイルス感染症の終息に見通しが立たない中、高齢者が一堂に会する式典の実施は困難であるため、皆様の健康と安全を考慮して令和4年度も中止させていただきます。

なお、75歳以上の方（令和3年9月20日「敬老の日」現在）には、9月中旬に、ささやかですが記念品をお配りし、これまでの御苦労を労うと共に、長寿をお祝いさせていただきます。

■お問合せ先

町保健福祉課【担当　菅原】
TEL72−4285

寄附

御寄附に感謝

この度、黒松内町建設業協会様及びようてい農業協同組合様から、令和4年7月30日に開催されたビーフ天国実行委員会主催の花火大会への協賛金を賜りました。

善意に心から感謝申し上げます。

地域おこし協力隊・地域活性化起業人リレーコラム

第4回　館山（たてやま）　修（おさむ）　さん

（所属：㈱ブナの里振興公社）

地域おこし協力隊・地域活性化起業人リレーコラム第4回目は、東京のタイ料理レストランで総料理長を勤めた経歴をお持ちで、本町出身の館山さんです。

4月に地域おこし協力隊として㈱ブナの里振興公社に入社し、歌才自然の家のレストラン槇里花の厨房で勤務しています。

黒松内町の白炭地区出身で、熱郛小学校、黒松内中学校から、長万部高校に通っていました。高校卒業後はずっと首都圏の飲食業界で働いてきたので、黒松内の記憶は少し薄れていましたが、こちらに戻ってきてから同級生や旧友と再会でき、嬉しく思っています。

東京では中華、イタリアン、ハンバーガー、パンケーキなど様々なジャンルの新店舗立ち上げ、メニュー開発に携わってきました。

特にタイ料理店では長く勤務し、本場の味を提供できるようにタイにも何度も足を運びました。歌才自然の家でもタイ料理を提供していますが、一番のおすすめはガパオライスです。少し辛く感じる方もいるかもしれませんが、日替わりメニューとして土日に注文できますので、是非一度召し上がってみてください。

黒松内にあるレストランなので、今後はタイ料理に限らず、黒松内や周辺地域の食材を使用したメニューを考案して提供していきたいです。また、地方のため人材難だとは聞いていますが、若い後継者が来てくれるような、料理人にとっても魅力あるレストランにしていきたいです。

趣味は温泉に入ることで、東京にいた頃は休日のたびに健康ランドで一日中過ごしていました。今は黒松内温泉ぶなの森に通っています。

▲自慢の腕を振るう館山さん

俳句

ぶなの里俳句会

打水の子の打つ大波小波かな　喜美子

朝腕ぎの胡瓜酢物に漬物に　ひろ子

雷鳴に夕餉支度の手を止める　孝子

草を引くひたすら引きて刻暮るる　悦子

夏の朝ラジオ体操に加はりぬ　米子

昼寝覚め孫のラインの電子音　奉子

風紋に添ひて咲きゆく浜昼顔　かおる

戸籍の窓口（敬称略）

町の人口と世帯

7月末日現在（住民基本台帳）

2,658人（－64）

（うち外国籍住民：31人）

- 男　1,272人　（－32）
- 女　1,386人　（－32）
- 世帯　1,465世帯　（－25）

※（　）内の数字は前年同月との比較

こんにちはよろしくね

新岡慧人（にいおかけいと）　10区
（父　弘敏・母　郁香）

湯浅和奏（ゆあさわかな）　南7区
（父　駿・母　亜美）

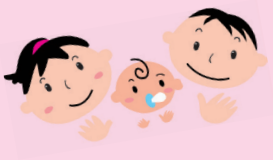
吉田善多（よしだぜんた）　8区
（父　善哉・母　裕貴子）

御冥福をお祈り申し上げます

半田キミヱ	（アカシア町住）	95歳 7.25
西田智子	（アカシア町住）	52歳 8.16
髙橋俊三	（大成）	88歳 8.24
成田節子	（角十）	79歳 8.29

やんちゃ倶楽部　一歳になりました

お父さん・お母さんからのメッセージ



高橋　一颯（たかはし　いぶき）くん
令和3年8月29日生

1歳おめでとう！
たくさん食べて元気に遊んで
大きくなってね。

高橋　陽祐・琴絵 さん
（南7区）

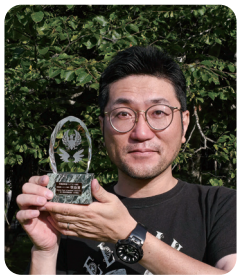
「北海道映像コンテスト2022」地域振興コンテンツ部門入賞！

町観光協会の古本さんが作成した本町PR動画が、道内で作られる映像作品を対象とする「北海道映像コンテスト2022」の地域振興コンテンツ部門で奨励賞を受賞しました。

動画共有サイトYouTubeで配信中ですので、是非御覧ください。

▼視聴方法

黒松内町観光協会公式YouTubeチャンネルから視聴
（https://www.youtube.com/watch?v=JmiECQLVWPs）



▼YouTubeへのリンクはこちらから

■お問合せ先

（一社）黒松内町観光協会
TEL72－3597

はしっこ同盟　長万部町・豊浦町からのお知らせ

「オーサービジット」の御案内

長万部町出身のミステリー作家櫻田智也氏に、長年の夢であった作家デビューまでの経緯や長万部町で過ごした幼少期の思い出と執筆との関連などについて御講演いただきます。

参加料は無料ですので、お気軽にお越しください。

▼講演内容・講師

「サーチライトと誘蛾灯」
小説家　櫻田　智也　氏

▼日時

9月24日（土）午後3時から

▼場所

長万部町学習文化センター

■お問合せ先

長万部町学習文化センター
TEL01377－2－5757

道の駅とようら

国道37号と道道97号が合流する場所にある道の駅とようらでは、町内で収穫された新鮮な野菜や水産物などが並び、テイクアウトコーナーでは、豊浦いちごを使用した「とようらいちごソフトクリーム」などを販売していますので、是非お越しください。

▼場所

豊浦町字旭町65番地8

▼営業時間

午前9時～午後5時

■お問合せ先

道の駅とようら
TEL0142－83－1010

広報　くろまつない

2022(令和4年).9.8　No.532

発　行　黒松内町
〒048-0192　寿都郡黒松内町字黒松内302番地1
TEL 0136-72-3311(代表)　FAX 0136-72-3316
E-mail　buna@town.kuromatsunai.hokkaido.jp

編　集　黒松内町企画環境課
TEL 0136-72-3376(ダイヤルイン)

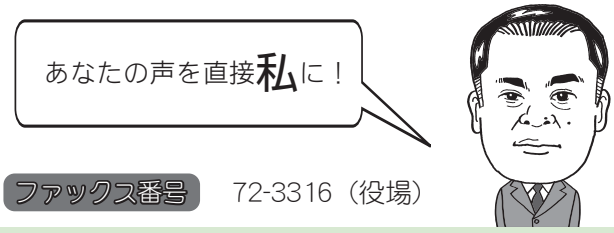
印　刷　㈱総北海

●広報くろまつない No.533 発行予定日は9月22日(木)です。

町政に対する御意見・御要望等がある方は「私の思い」に内容を記載の上、ファックスにて送信してください。

「私の思い」は、記入用紙を役場庁舎に備えており、年2回広報折込でも配布しています。

また、町ホームページから直接投稿することもできます。
(http://www.kuromatsunai.com)



ファックス番号　72-3316（役場）

広報くろまつないは、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用し、CO_2削減事業並びに東北経済復興を応援しています。また、環境に優しい道産間伐材を配合した用紙を使用しています。